

JIS

自動車部品—ディスクブレーキパッド —熱膨張試験方法

JIS D 4416 : 1998

(2008 確認)

平成 10 年 7 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

まえがき

この規格は、工業標準化法に基づいて、日本工業標準調査会の審議を経て、通商産業大臣が改正した日本工業規格である。これによってJIS D 4416 : 1996は改正され、この規格に置き換えられる。

今回の改正では、日本工業規格と国際規格との整合化を図ることを基本方針とし、本体を国際規格に一致させ、従来の日本工業規格を附属書とした。

JIS D 4416には、次に示す附属書がある。

附属書(規定) ISO 6313によらないブレーキライニング及びディスクブレーキパッド—熱膨張試験方法

主 務 大 臣：通商産業大臣 制定：昭和 61. 8. 1 改正：平成 10. 7. 20

官 報 公 示：平成 10. 7. 21

原案作成協力者：社団法人 自動車技術会

審 議 部 会：日本工業標準調査会 自動車・航空部会（部会長 佐藤 武）

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部材料機械規格課（☎100-8921 東京都千代田区霞が関1丁目3-1）にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

自動車部品—ディスクブレーキパッド D 4416 : 1998

—熱膨張試験方法

Automotive parts—Disk brake pads—Test procedure of thermal expansion

序文 この規格は、1980年に第1版として発行されたISO 6313(Road vehicles—Brake linings—Effects of heat on dimensions and form of disc pads—Test procedure)を翻訳し、本体は対応国際規格の技術的内容及び規格票の様式を変更することなく作成し、従来日本工業規格で規定していた試験方法を**附属書(規定)**として規定した日本工業規格である。

この規格は、ディスクブレーキパッドを加熱してその寸法変化を測定する方法を規定する。同時に、ディスクブレーキパッドの厚さ方向における熱伝導性を知ることができる。

この規格は、ブレーキライニングにも適用を拡大することを検討中である。

1. 適用範囲 この規格は、ディスクブレーキパッド(以下、パッドという。)の温度に対する寸法変化の測定方法と熱伝導性の測定方法を組み合わせて規定する。

これらに関連する寸法は、次のものである。

- 厚さ
- ブレーキの作動不良を引き起こす可能性のある摩擦材外形寸法

この規格は、自動車用パッドに適用する。パッド摩擦材寸法は高さ80 mm、幅120 mm、厚さ20 mmを超えないものでバックプレートにモールド又は接着したものとする。

備考 この規格の対応国際規格を、次に示す。

ISO 6313 : 1980 Road vehicles—Brake linings—Effects of heat on dimensions and form of disc brake pads
—Test procedure

2. 引用規格 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。この引用規格は、その最新版を適用する。

ISO 611 Road vehicles—Brake of automotive vehicles and their trailers—Vocabulary

3. 記号及び定義 一般的な定義については、ISO 611を参照すること。

記号	定義
d_m	サンプルの平均厚さ(4.参照)
d_{A1}	必要な場合、摩擦材外形寸法(4.参照)
d_{B1}	必要な場合、試験後室温での摩擦材外形寸法(6.参照)
Δd_i	必要な場合、摩擦材外形寸法の変化量(7.参照)

4. サンプルの抜取り及び調製 サンプルは、新品を使用する。

ジグにセットする前に、パッド両面を粒度120番の研磨紙でこすってバックプレートの塗料を取り除き、摩擦面の